



## 第85回

### 日本のバレンタインデーの始まりは

※2025年2月の毎日新聞記事を元にした文章です。

校閲し、直すべきところを指摘してください。

14日はバレンタインデー。2月

と話しています。

の風物詩として日本にすっかり定着したこのイベントの始まりは何だったのでしょうか？ 起源をたどると、その答えは簡単ではないようです。Q&A型式で解説します。

Q というと、他に発案者がいたんだね？

Q 今年もデパートにチョココレートの特設売り場ができていたよ。日本のバレンタインデーはいつごろ始まったんだろう？

A イギリスの知人から聞いた習慣を参考に、日本で初展開したのはメリーチョコレートカンパニー（同大田区）です。58年2月に

A 広く知られるようになったのは1959（昭和34）年に森永製菓（東京都港区）が新聞広告などでキャンペーンを展開してからだそうです。商品のラベルを送ると高額景品が当たる顕彰は大反響だったとか。ただし、同社は「初めて紹介したわけではありません」

3日間、新宿・伊勢丹でフェアを開催しました。発案者で後に社長を務めた原邦夫さんによると、売れたのは50円の板チョコ3枚と20円のメッセージカード1枚だけだったそうです。翌59年にはハート形のチョコを造り、「女性から男性への愛の告白」として売り出しました。同社は2013年に日本記念日協会から記念日文化功労賞を受けています。

Q じゃあ、それが最初？

A そう簡単ではありません。モロゾフ（神戸市）が創業翌年の32年に発行したカタログに、「バレンタインの愛の送り物」という言葉とハート形容器に入れたチョコの写真が掲載されていたことが分かっています。35年には外国人向け英字新聞に広告も出しており、同社は「バレンタインデーにチョコを贈る文化を初めて紹介したのは当社」と話しています。

Q 捕らえ方によって違うんだね。長い歴史があるんだなあ。

A 昭和では「女から男へ」が一般的でしたが、近年は自分や友人に贈るのも普通になっています。最近は好きなアイドルやキャラクターなどにささげる「押しチョコ」がトレンドだとか。楽しみ方も時代の変化に合わせて多様化しています。